

日本学術会議／心理学・教育学委員会・臨床医学委員会・健康・生活科学委員会・環境学委員会  
・土木工学・建築学委員会合同 子どもの成育環境分科会（第24期）

## 第2回 議事録

日時：平成30年5月28日（月）10時～12時

会場：日本学術会議6階 6-A（1）（2）会議室

出席：神尾, 水口, 赤松, 浅野, 伊香賀, 内田, 加野, 神吉 (web会議参加), 木下, 斎尾 (記録), 定行,  
田中, 都築, 中坪, 福井, 三輪, 湯川, 吉野  
仙田 (オブザーバー), 小酒井, 野村 (国土交通省オブザーバー) (下線：出席者)

配布資料：

資料1 前回議事録（案）（分科会第1回）

資料2 国土交通省・野村委員資料

資料3 木下委員資料

資料4 三輪委員資料

資料5 委員候補（特任連携委員）資料

報告資料1 Lia Kartson 講演会資料

議事内容

0. 出席委員の自己紹介（2回目からの参加委員）

1. 前回議事録案の確認（資料1）

- ・前回議事録案を確認。
- ・毎回、メール回覧、修正意見を適宜反映し、最終版は委員長一任とすることを確認。

2. 話題提供 1)2)3)（資料2,3,4にもとづき、各委員より話題提供）

- 1) 国土交通省 公園緑地・景観課 野村亘氏より
- 2) 公園を子どもの生育環境として向上するための課題 木下勇委員より
- 3) 公園と保育所 三輪律江委員より

3. 全体討議

話題提供1)2)3)に関して、各種観点からの討議がおこなわれた。

- ・多少の怪我・事故リスクを伴うものの、外あそびは大事。子どもの行動予測は難しい中で、小さな危険・ケガをして、大怪我を避けることが理想。
- ・リスクに萎縮して制限が多くなっている子どものあそび状況と、多少のリスクを覚悟であそばせたい

保護者、乖離は大きい。

- ・一方で、法的な裁判所の相場は遊具管理者が責任を負う。変えるのは困難、という状況。
- ・公園等の子どものあそび場の運営のしくみ、プログラムのしくみ等、情報交換、意見交換は、今後も継続していく。
- ・また、リスキープレイや外遊びの有効性に関する研究・エビデンスに関する情報交換、意見交換は、今後も継続していく。

#### 4. 特任連携会員申請について（資料5）

- ・Y委員を特任連携会員に申請することが確認された。

#### 5. 次回の分科会について

- ・7～8月に予定、後日日程調整をする予定。
- ・次回の話題提供は、道路と住環境について検討しており、国交省と発表者の調整をおこなう予定。

以上